

令和8年度 高遠さくらホテル 空調設備更新ほか工事

伊那市
有限会社 ワイズ創造研究所

表紙・図面リスト					
図面番号	図面名称 (改修・仮設)	図面番号	図面名称 (電気)	図面番号	図面名称 (機械)
A- 00	表紙・図面リスト	E- 01	電気設備工事特記仕様書	M- 01	機械設備工事特記仕様書
A- 01	改修工事 特記仕様書 1	E- 02	1階エアコン電源配線図	M- 02	機器表
A- 02	改修工事 特記仕様書 4	E- 03	2階エアコン電源配線図	M- 03	冷暖房 1階平面図
A- 03	解体工事 特記仕様書	E- 04	受変電設備結線図・動力盤図	M- 04	冷暖房 1階平面図 (仮設計画)
A- 04	概要・案内・配置図				
A- 05	1階平面図				
A- 06	外部足場計画図				
A- 07	構内安全仮設計画図				
A- 08	立面図 1 (北・西)				
A- 09	立面図 2 (南・東)				
A- 10	家具図 (撤去・改修)				

令和8年度 高遠さくらホテル 空調設備更新ほか工事 改修工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 伊那市高遠町助間217番地

2. 敷地面積 (㎡) 10,032㎡

3. 工事種目 改修工事

施設別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
ホテル	改修	RC	4				3,854.13

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修仕様」という。)による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。

(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の[]内表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 特記事項に記載の< >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

11. 化学物質の濃度測定

測定方法 ※ハット法(拡散法) ・フタフタ法(吸引法) [1.5.9]

検査機関 ※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承認した者

測定物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※2,4,6-トリメチルフェノール ※p-クレゾール ※フェノール

測定箇所(室)

計		備		所	

※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	2,4,6-トリメチルフェノール	p-クレゾール	フェノール	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

作成する (1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)

◎完成図(※設計図書で示したもので、標仕表1.7.11による) ・監督員の指示による)

作成方法 ※原図 用紙 (※ハット法) ・A1 ()

作図方法(※CADで作成し出力) ()

・マイクロフィルム(70インチ付)

◎製本(原図の青焼き、見開きA1版(1部)) ()

◎CADデータ(※CD-R(2部)) ()

※保全に関する資料(2部)

◎別途「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。

完成写真

下記のものに監督職員に提出する。原図は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)
◎カラー写真	外部() 内部(16ヶ所)	※2	・ ※ワイド版 ・ チェス版
・ パネル(木製枠)	外部() 内部()	※2	・ ※半切 ・ 全紙
・ カラースライド	外部() 内部()	※1	・ 24×36以上
◎電子データ	外部() 内部(16ヶ所)	※2	・ ※428万画素以上

電子データは、7448kxのうえRGB各8bit(24ビット)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、0D-1にて提出とする。

撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承認する撮影業者

◎別途「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。

建築材料等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

なお、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」に指定された材料については上記(1)~(6)に該当するものとする。

また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承認を受けた材料とする。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

(1) 合板、本質系70-70%、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パネリング、その他の木質建材、17層樹脂板、仕上げ塗材及び紙張はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びフェノールを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(3) 接着剤は99%エポキシ樹脂及びフェノール樹脂を含有しない難燃発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規制対象外

① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③ 下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

第三種

① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

③ 旧JISのE規格品

④ 旧JASのF規格品

① 足場その他

・ 内部足場 種別 ※脚立、足場板等 ・ 図示による (2.2.1)

・ 外部足場 種別 ※A種(手すり先行工法) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 脚立 (2.2.1)(表2.2.1)

防護シートによる養生 ※行う ・ 行わない

材料、撤去材料等の運搬 ※A種 ◎B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 (2.2.1)(表2.2.1)

養生

既存部分の養生 ◎ビニルシート等 ◎合板 (2.3.1)

既存家具等の養生 ※ビニルシート等

固定家具等の移動 ※行わない ・ 行う(図示) (2.3.2)(表2.3.1)

仮設間仕切

種別	下地	仕上材(厚さmm)	塗装
・ A種	※軽量鉄骨	・ 合板(※9.0)	※無し
・ B種	・ 木下地	※せっこうボード(※9.5)	・ 片面
※C種	単管下地	防火シート	
※木製扉	※合板張り程度		※無し
仮設扉	・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度	・ 有り
充てん材	※クワース 32K(厚:50mm以上)		

④ 監督職員事務所

※ 設ける(・ 既存建物の一部を使用する ※構内に設置する) ◎ 設けない (2.4.1)(表2.4.2)

規模 ※10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

1. アスファルト防水 (3.3.2)(3.3.3)(表3.3.1.1)(表3.3.3~表3.3.10)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
・ P1B		・ B-1 ※B-2
・ P1B1 ・ T1B1		・ B1-1 ※B1-2
・ P2A1		・ A1-1 ※A1-2
・ P2A		・ A-1 ※A-2
・ M4C		・ C-1 ※C-2
・ M3D ・ P0D		・ D-1 ※D-2
・ E-1		・ E-1 ※E-2

アスファルトの種類 ※3種 ・ 4種 (3.2.2)(3.3.2)

保護コンクリートのコンクリート種類 ※無筋コンクリート (3.3.2)

二重ドレン(P0D工法の場合) ※設けない ・ 設ける (3.2.5)

断熱装置(M3D、P0D工法の場合) ※設けない ・ 設ける (3.3.3)

既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・ 除去する (3.2.6)

断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 (3.3.2)

ただし、ノンフロンのもの。

立上り部の保護

れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんがが形コウリトクとする。 (3.3.2)

乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm

2. 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)(3.4.3)(表3.4.1.1)(表3.4.1~表3.4.3)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)
・ M4AS工法		・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3	
・ M3AS工法		・ AS-4 ・ AS-5 ・ AS-6	
・ P0AS工法			
・ M3AS1工法		・ AS1-1 ・ AS1-2	
・ M4AS1工法			
・ P0AS1工法			

断熱装置 ※設けない ・ 設ける

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2)(3.5.3)(表3.5.1.1)(表3.5.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類
・ POS工法		・ S-F1 ・ S-M1	・ カラー	※非歩行
・ SAS工法		・ S-F2 ・ S-M2	・ シルバー	・ 軽歩行
・ SSS工法				
・ M4S工法		・ S-M1 ・ S-M2		
・ POS1工法		・ S1-F1 ・ S1-F2		
・ SSS1工法		・ S1-M1 ・ S1-M2		
・ SAS1工法		・ S1-M3		
・ M4S1工法				

断熱装置 ※設けない ・ 設ける (3.5.3)

日地処理 PCコンクリートの場合() (3.5.4)

4. 塗膜防水 (表3.1.1)(3.6.3)(表3.6.1)(表3.6.2)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り
・ POX工法		※X-1	・ シルバー
・ LX工法		※X-2	・ カラー
・ PY工法		※Y-1	
・ PY2工法		※Y-2	

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(LX工法の場合) ・ 除去する (3.2.6)

断熱装置 ※設けない ・ 設ける (3.6.3)

(1~4)についての保証

防水工事施工者及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。

種類	材質	設置数量
・ 平面部脱気型	・ ポリエチレン樹脂 ・ ABS樹脂	()
	・ ステンレス	・ 鉄線
・ 立上り部脱気型	・ 合成ゴム	・ 塩化ビニル樹脂 ()
	・ ステンレス	・ 鋼

5. 断気装置 (3.3.3)(3.4.3)(3.5.3)(3.6.3)

シーリング (3.7.4~3.7.7)(表3.7.1)

◎シーリング完てん工法 ◎シーリング再完てん工法

・ 抜幅シーリング再完てん工法 ・ ブリッジ工法

シーリングの種類、施工箇所 (3.7.2)(表3.7.1)

※下表以外は改修仕様表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

PCB含有シーリング調査

・ 1次分析(PCB含有分析の要否判定)

工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種材についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、PCB含有分析が必要な場合は協議する。

・ 2次分析(PCB含有分析)

PCBの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。

(1) 採取箇所 分析箇所

(2) 採取方法 分析機関の指定する方法により採取する。

(3) 分析方法 GC-ECD法による(JIS K0114)

シーリングにPCBが含有していた場合の措置

(1) 除去方法 改修仕様3.7.5(a)による

(2) 処置方法 関係法令により適切に処置すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、PCBが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

との材質 (3.8.2)(表3.8.1)

※配管用鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管

・ ステンレス鋼板 ・ 表面処理鋼板 ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管

鋼管等との防露 次の箇所は行わない() (3.8.3)(表3.8.4)

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・ 第三種

掘削口 ※有り ・ 無し

縦い受け金具の取付け ※図示 ・ 標仕13.5.3(d)(2)による (3.8.5)

8. アルミニウム製笠木 (3.9.2)(表3.9.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考
・ 250形	1.6以上	※A-1又はB-1種	※固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当り部等は品質計画で定めた仕様による
・ 300形	1.8以上	()		
・ 350形	2.0以上			
・ 100形				

板材折曲げ形の取付工法 ・ 図示 (3.9.3)

工法

既存笠木等の撤去 ・ 行う(範囲 ※図示)

下地補修の工法 ※図示

板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示

形式	※重ね形	・ はげ絡め形	◎かん合形
形状(mm)	山高(90)	山ピッチ()	板厚 ※0.6 ・ 0.8
材料	※塗装溶融55%74%に亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(GBLCCR-20-A2150)		
(規格等)			
軒先面戸板	※有り	・ 無し	
断熱材	※有り(種別)	厚さ()mm	◎無し
耐火性能	◎30分耐火	・ 無し	◎A-1・74%亜鉛めっき

(9)についての保証

・ 長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは経年補修及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。

・ 上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。

1. 施工数量調査 (1.5.2)

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・ 図示の範囲

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。

調査報告書の部数 ※2部

・ 既製適合モルタル (4.2.2)

保水性(%)	単位容積質量(Kg/l)	接着強さ(N/mm2)	引張強さ(N/mm2)	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

・ パテ状エポキシ樹脂 (4.2.2)

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0 N/mm2以上	6.0 N/mm2以上	50.0 N/mm2以上	30.0 N/mm2以上	3.0 %以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

b. 対象とする接着体を破さず、かつ、周面を汚損しないこと。

c. 常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・ 可とうエポキシ樹脂 (4.2.2)

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	最大引張応力 1.0 N/mm2
伸び	30.0 %以上	30.0 %以上	30.0 %以上	破断時の伸び 10 %以上

表示値±0.10

60秒以下

3mm以下

5%以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

b. 対象とする接着体を破さず、かつ、周面を汚損しないこと。

c. 常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・ タイル部分張替え用エポキシ樹脂 (4.2.2)

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/mm2)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
湿潤破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上

皮膜物性

引張強さ(N/mm2)	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性

容積と粘度に著しい変化がないこと。

耐熱性

JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/mりでも安定していること。

a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。

b. タイル、石材、下地等を破すものでないこと。

c. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。

d. 常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。

e. ずれ抵抗性があること。

f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・ エポキシ樹脂モルタル (4.2.2)

接着強さ	標準	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0 N/mm2以上		20.0 N/mm2以上	10.0 N/mm2以上

a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上げが良好であること。

b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。形状に異常がなく、だれが生じないこと。

d. 常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図 ○ 敷地調査共通仕様書 ○ 建築構造設計基準 ○ 営繕工事写真撮影要綱 ○ 長野県建築工事の手引 ○ 公共建築改修工事標準仕様書 ○ 公共建築工事標準仕様書 ○ 公共建築木造工事標準仕様書 ○ 建築物解体工事共通仕様書 ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編) ○ 長野県建設リサイクル推進指針
	② 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による [1.2.2]
	3. 電気保安技術者	※適用する ・ 適用しない (1.3.3)
② 特別な材料の工法	① 条件明示項目	◎現場説明書による (1.3.5)
	③ 発生材の処理等	※別仕様書工事仕様書による ◎異外搬出適正処理 (1.3.8)
7. 施工数量調査	調査範囲及び調査方法	※図示 (1.5.2)
	既存部分の破壊を行った場合の修繕方法	※図示 (1.5.3)
③ 技能士	※ 適用する(一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。)	(1.6.2)
	◎適用しない	
③ 設備工事との取合い	適用工事種目	技能検定作業
	防水改修工事	・ 77716防水工事作業 ・ 9143系遮断防水工事作業 ・ 77716系遮断防水工事作業 ・ 合成樹脂防水工事作業 ・ 塩化ビニル防水工事作業 ・ 77716系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質77716シーリング防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 ・ 左官作業 ・ 内外装板金作業
	外壁改修工事	・ 左官作業 ・ 9143種り作業 ・ 建築塗装作業
	建具改修工事	・ ビル用9143種り作業 ・ 9143種り作業 ・ 自動ドア機作業
	内装改修工事	・ 9143種り床仕上げ工事作業 ・ 9143種り床仕上げ工事作業 ・ 9143種り仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ 壁張作業 ・ 大工工事作業 ・ 9143種り作業
	塗装改修工事	・ 建築塗装作業
	耐震改修工事	・ 鉄骨組立作業 ・ 型枠機作業 ・ とび作業
	コンクリートの打込み工事	・ コンクリートの打込み作業
	石工事	・ 石張り作業
	植栽工事	・ 造園工事作業
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。		

12. 完成図等 (1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)

◎作成する (1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)

◎完成図(※設計図書で示したもので、標仕表1.7.11による) ・ 監督員の指示による)

作成方法 ※原図 用紙 (※ハット法) ・ A1 ()

作図方法(※CADで作成し出力) ()

・ マイクロフィルム(70インチ付)

◎製本(原図の青焼き、見開きA1版(1部)) ()

◎CADデータ(※CD-R(2部)) ()

※保全に関する資料(2部)

◎別途「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。

完成写真

下記のものに監督職員に提出する。原図は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)
◎カラー写真	外部() 内部(16ヶ所)	※2	・ ※ワイド版 ・ チェス版
・ パネル(木製枠)	外部() 内部()	※2	・ ※半切 ・ 全紙
・ カラースライド	外部() 内部()	※1	・ 24×36以上
◎電子データ	外部() 内部(16ヶ所)	※2	・ ※428万画素以上

電子データは、7448kxのうえRGB各8bit(24ビット)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、0D-1にて提出とする。

撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承認する撮影業者

◎別途「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。

建築材料等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

なお、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」に指定された材料については上記(1)~(6)に該当するものとする。

また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承認を受けた材料とする。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

(1) 合板、本質系70-70%、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パネリング、その他の木質建材、17層樹脂板、仕上げ塗材及び紙張はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びフェノールを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(3) 接着剤は99%エポキシ樹脂及びフェノール樹脂を含有しない難燃発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規制対象外

① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③ 下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

第三種

① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

③ 旧JISのE規格品

④ 旧JASのF規格品

① 足場その他

・ 内部足場 種別 ※脚立、足場板等 ・ 図示による (2.2.1)

・ 外部足場 種別 ※A種(手すり先行工法) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 脚立 (2.2.1)(表2.2.1)

防護シートによる養生 ※行う ・ 行わない

材料、撤去材料等の運搬 ※A種 ◎B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 (2.2.1)(表2.2.1)

養生

既存部分の養生 ◎ビニルシート等 ◎合板 (2.3.1)

既存家具等の養生 ※ビニルシート等

固定家具等の移動 ※行わない ・ 行う(図示) (2.3.2)(表2.3.1)

種別	下地	仕上材(厚さmm)	塗装
・ A種	※軽量鉄骨	・ 合板(※9.0)	※無し
・ B種	・ 木下地	※せっこうボード(※9.5)	・ 片面
※C種	単管下地	防火シート	
※木製扉	※合板張り程度		※無し
仮設扉	・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度	・ 有り
充てん材	※クワース 32K(厚:50mm以上)		

③ 防水改修工事

④ 監督職員事務所

※ 設ける(・ 既存建物の一部を使用する ※構内に設置する) ◎ 設けない (2.4.1)(表2.4.2)

規模 ※10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

1. アスファルト防水 (3.3.2)(3.3.3)(表3.3.1.1)(表3.3.3~表3.3.10)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
・ P1B		・ B-1 ※B-2
・ P1B1 ・ T1B1		・ B1-1 ※B1-2
・ P2A1		・ A1-1 ※A1-2
・ P2A		・ A-1 ※A-2
・ M4C		・ C-1 ※C-2
・ M3D ・ P0D		・ D-1 ※D-2
・ E-1		・ E-1 ※E-2

アスファルトの種類 ※3種 ・ 4種 (3.2.2)(3.3.2)

保護コンクリートのコンクリート種類 ※無筋コンクリート (3.3.2)

二重ドレン(P0D工法の場合) ※設けない ・ 設ける (3.2.5)

断熱装置(M3D、P0D工法の場合) ※設けない ・ 設ける (3.3.3)

既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・ 除去する (3.2.6)

断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 (3.3.2)

ただし、ノンフロンのもの。

立上り部の保護

れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんがが形コウリトクとする。 (3.3.2)

乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm

2. 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)(3.4.3)(表3.4.1.1)(表3.4.1~表3.4.3)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)
・ M4AS工法		・ AS-1	

⑦ 塗装改修工事	① 材料	屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。 ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放放量 ※ 規制対象外 ・ 第三種			
	② 下地調整	[7.2.2~7] [表7.2.1~7]			
		下地面の種類	下地調整の種類	備 考	
		木部	・ R A種 ※ R B種		
		鉄鋼面	・ R A種 ※ R B種		
		垂れめつき面	・ R A種 ※ R B種		
		垂れめつき面 (鋼製建具)	※ R B種 ・ R C種		
		モルタル、プaster一面	・ R A種 ※ R B種		
		コンクリート、ALCパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE)、(2-ASE)及び(2-FUE)は除く	
				[表7.2.4~6]	
⑧ 塗装塗り		既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※ 行わない ・ 行う (補修範囲及び補修方法は図示)			
		[7.4.2~7.15.2] [表7.4.1~7.15.1]			
		塗 装 の 種 類	塗 装 面	工 程	
				塗替え	新規
		・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3]	※ A種 [7.4.3]
			木部 (内部)	※ B種 [7.4.3]	※ B種 [7.4.3]
			鉄鋼面	※ B種 [7.4.4]	・ A種 ・ B種 [7.4.4]
			垂れめつき面	※ B種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]
			鋼製建具	※ A種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]
		・ アクリル樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[7.6.2]	
		鉄鋼面	[7.6.3]		
		垂れめつき面	[7.6.3]		
	・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	屋内のコンクリート面・モルタル面	※ B種 [7.7.2]	※ B種 [18.6.2]	
	⑨ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種	※ A種 [7.8.2]	
		上塗り	・ B種		
		・ 1級 (ふっ素樹脂塗料)	・ C種		
		・ 2級 (77%シリコン樹脂塗料)			
		・ 3級 (87%シリコン樹脂塗料)			
		垂れめつき面	・ A種	※ A種 [7.8.3]	
		上塗り	・ B種		
		⑩ 1級 (ふっ素樹脂塗料)	・ C種		
		・ 2級 (77%シリコン樹脂塗料)	[7.8.3]		
		・ 3級 (87%シリコン樹脂塗料)			
		コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種	・ A種	
			・ B-1種 ・ B-2種	・ B種	
			・ C-1種 ・ C-2種	・ C種	
			[7.8.4]	(18.7.4)	
		押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種	・ A種	
			・ B-1種 ・ B-2種	・ B種	
			・ C-1種 ・ C-2種	・ C種	
			[7.8.4]	(18.7.4)	
	・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※ B種 [7.9.3]	※ A種 [7.9.3]	
		屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4]	・ A種 ・ B種 [7.9.4]	
		屋内垂れめつき面	※ B種 [7.9.5]	・ A種 ・ B種 [7.9.5]	
		コンクリート面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	
		モルタル面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	
		プaster一面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	
		せっこうボード面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	
	⑪ 合成樹脂エマルジョン塗料塗り (EP)	塗装面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	
		コンクリート面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	
		モルタル面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	
		プaster一面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	
		せっこうボード面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	
	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面・モルタル面・プaster一面・木部等	・ A種 ※ B種 C種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]	
	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	
	・ クリアラッカー塗り (OL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	
	・ オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2]	[7.13.2]	
	・ 木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	
		合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類	※ 1種	[7.4.2]	

⑨ 環境配慮改修工事	① アスベスト含有分析調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 (建材のアスベスト含有調査済み。 吹付下地材、押出成形セメント板含有 倉庫鉄骨吹付材⇒非含有 ・ 行う (下表による) ※ 行わない (疑わしき建材は安定処理を要する) [9.1.1]				
		材 料 名	調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)			
		・ 解体除去建材	※ 定性分析 ・ 定量分析			
			※ 定性分析 ・ 定量分析			
			※ 定性分析 ・ 定量分析			
			※ 定性分析 ・ 定量分析			
		採取箇所	※ 図示 ・ 適宜			
		分析対象	※ アスベスト 6 種類 (アモサイト、クリソタイト、クロソライト、アクチノライト、アンソファイト、トリモライト)			
		分析方法	※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。			
		アスベスト粉じん濃度測定	・ 行う (測定名称及び測定点は下表による)			
2. 7A^1 粉じん濃度測定		測定箇所	※ 図示 [9.1.1]			
		測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備 考
		・ 測定 1		処理作業室内	各 点	—
		・ 測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—
		・ 測定 3		処理作業室内	各 点	—
		・ 測定 4	処理作業中	材料・ダスト入口	各 点	空気の流れを確認
		・ 測定 5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各 点	除じん装置の性能確認
		・ 測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—
		・ 測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	各 点	—
		・ 測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—
	・ 測定 9	処理作業後シート	処理作業室内	各 点	—	
	・ 測定 10	撤去後1週間以降	調査対象室外部付近	計 点	—	
	アスベスト粉じん濃度測定方法	アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。				
		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5		
	計数機器	位相差顕微鏡				
	ノズル径	25 mm		47 mm		
	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min		
	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min		
	試料の透明化	アセトニートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法				
	計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野				
	計数アスベスト	直径 300±0.30µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上				
	定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l		
	報告書の作成 (記録する項目)	ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。) エ、サンプリング条件 (メンレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向				
	アスベスト含有吹付材の除去 (レベル1)	アスベスト含有吹付材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は 9.1.3 による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※ 密封処理 (二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化				
	4. 7A^1 含有保温材等の除去 (レベル2)	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない				
	⑬ 7A^1 含有成形板の除去 (レベル3)	アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う ⑭ 対象物有れば行う				
	6. 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9.3.2]				
		材 料 名	厚さ (mm)			
		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]				
		・ 押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロン) [G]				
		・ 硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G]	・ フェノールフォーム			
		・ ロックウール	・ グラスウール			
		外装材の種類	[9.3.2]			
			防火性能			
		既存外壁の仕上材の撤去	・ 有り ・ なし [9.3.3]			
		下地面の清掃及び下地調整	※断熱材製造所の指定する仕様			
	7. ガラス改修工事	通気層 ・ 有り (mm) ・ なし [9.3.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける 特記無き事項は、製造所の仕様による。				
		複層ガラスの厚さ	建具表による [9.4.2]			
		断熱性・日射減へい性による区分	※ U3-1 ・ U3-2			
	8. 屋上緑化改修工事 [G]	植栽基盤及び材料 [9.6.1] ※屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示				

9. 透水性アスファルト舗装改修工事 [G]		路盤材料 [9.7.4] [表9.7.5]
		※再生クラッシュラン (RC-40) [G]
		・ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]
		・ クラッシュラン (C-40)
		透水性の高いものを使用する
		路盤の締固め度試験 ※ 行わない
		遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]
		・ 遮断層 ※ 川砂、海砂又良質な山砂
		厚さは図示
		・ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン 切り込み砂利 ・ 砂
	厚さは図示	
	盛り土に用いる材料 [9.7.3] [表9.7.1]	
	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	
	路床安定処理 [9.7.3] [表9.7.3]	
	※添加材料による安定処理	
	種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 [G]	
	・ 高炉セメントB種 [G]	
	・ 生石灰 () ・ 消石灰 ()	
	添加量 kg/m (自標CBR ※5以上)	
	路床土の支持力比試験 ※ 行う (※乱した土 ・ 乱さない土)	
	路床締固め度の試験 ※ 行う	
	砂の粒度試験 ※ 行う	
	透水性アスファルト混合物 [9.7.6] [表9.7.7]	
	車道部 ※ ポリマー改質アスファルト I 型	
	歩道部 ※ ストレートアスファルト	
	透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う [9.7.9]	
	・ 第一次判定	
	現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する	
	採取箇所数 計 箇所	
	採取箇所 ※ 図示	
	・ 第二次判定	
	専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う	
	分析回数 計 箇所	
	・ 除去処理工事	
	除去範囲 ※ 図示	
	撤去方法 ・ 「標準施工要領書 (日本シーリング工業会共同組合連合会/日本シーリング材工業会) による	
	⑮ PCB含有シーリング材について	
	PCB含有シーリング材について	
	A: 1973年 (昭和48年) 以降に着工した建物には、PCB含有シーリング材は使用されていない	
	B: 1972年 (昭和47年) 以前に着工した建物は、シーリング材の種類を判定する (第一次判定)	
	C: 第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材でなければ、PCBは使用されていない	
	D: 第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材の使用が確認された場合は、PCBが使用されている可能性があり、分析を行い第二次判定をする	
	⑯ 施工について	
	・ 対象建物→平成6年設計 (昭和48年以降新築着工) : A	

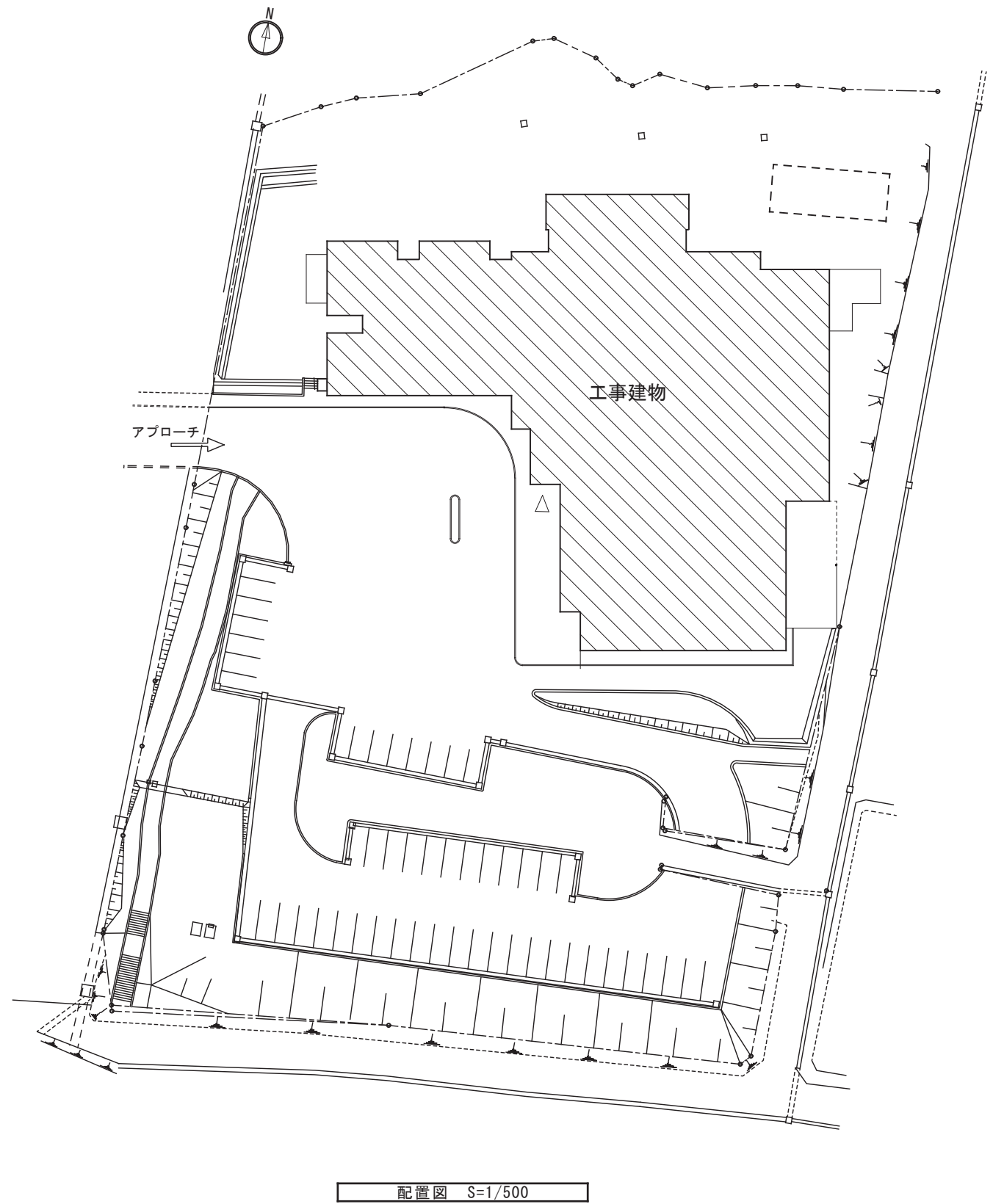
伊那市	有限会社 ワイズ創造研究所	一級建築士事務所登録 (伊那) 030X183号	年月日
		〒396-0022 長野県伊那市御園678 伊藤 龍文	2026. 2. 26
TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679	事務所開設者	一級建築士 大臣登録第235825号 鹿沢 豊	工事名
	改修特記仕様書 (4)	空調設備更新ほか工事	図面番号
			A-02

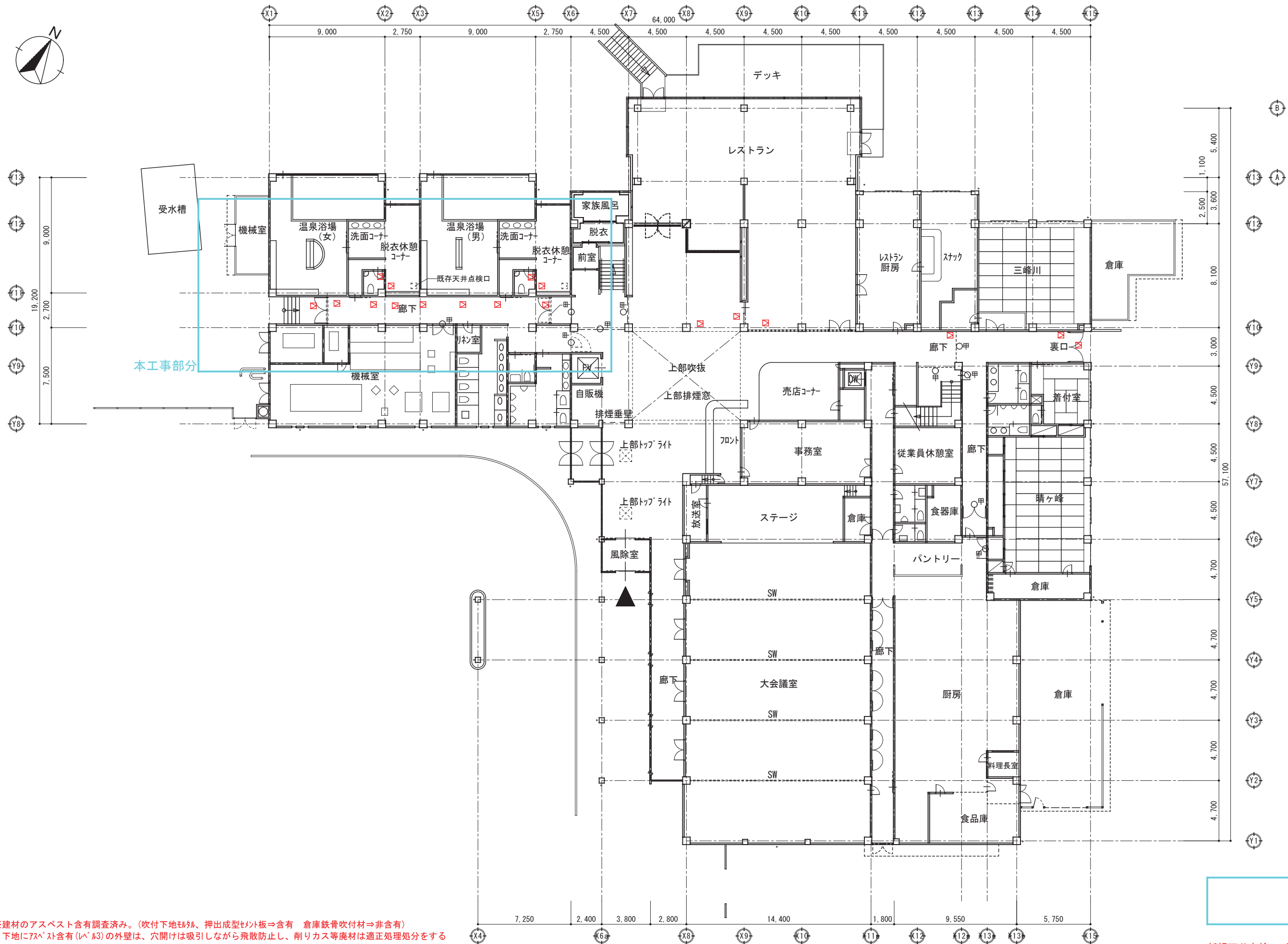
工事概要

1. 工事名称	令和8年度 高遠さくらホテル 空調設備更新ほか工事																			
2. 工事場所	伊那市高遠町勝間217番地 (高遠さくらホテル) 用途地域 都市計画区域内 指定なし 防火地域 指定なし (その他の地区・地域 美しい勝間景観協定)																			
3. 敷地面積	10,032㎡																			
4. 工事範囲	<table border="0"> <tr> <td>A) 諸室のエアコン他設置工事(機械設備工事)</td> <td>B) エアコン他設置の電源供給工事(電気設備工事)</td> </tr> <tr> <td>・ 1階晴ヶ峰エアコン工事</td> <td>・ A) の諸室工事の電源供給</td> </tr> <tr> <td>【工事外】 1階三峰川エアコン工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【工事外】 1階2階1F電気パネルヒーター工事</td> <td>C) 高圧受電設備更新改修工事(電気設備工事)</td> </tr> <tr> <td>【工事外】 1階厨房及び廊下エアコン工事</td> <td>・ 既存キュービクルの経年劣化各機器を新機器に取替</td> </tr> <tr> <td>【工事外】 2階廊下エアコン工事</td> <td>・ 既存キュービクルのエアコン接続用開閉器改修</td> </tr> <tr> <td>【工事外】 3階廊下エアコン工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【工事外】 4階廊下エアコン工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1階浴室脱衣室(男女)エアコン工事</td> <td></td> </tr> </table>		A) 諸室のエアコン他設置工事(機械設備工事)	B) エアコン他設置の電源供給工事(電気設備工事)	・ 1階晴ヶ峰エアコン工事	・ A) の諸室工事の電源供給	【工事外】 1階三峰川エアコン工事		【工事外】 1階2階1F電気パネルヒーター工事	C) 高圧受電設備更新改修工事(電気設備工事)	【工事外】 1階厨房及び廊下エアコン工事	・ 既存キュービクルの経年劣化各機器を新機器に取替	【工事外】 2階廊下エアコン工事	・ 既存キュービクルのエアコン接続用開閉器改修	【工事外】 3階廊下エアコン工事		【工事外】 4階廊下エアコン工事		・ 1階浴室脱衣室(男女)エアコン工事	
A) 諸室のエアコン他設置工事(機械設備工事)	B) エアコン他設置の電源供給工事(電気設備工事)																			
・ 1階晴ヶ峰エアコン工事	・ A) の諸室工事の電源供給																			
【工事外】 1階三峰川エアコン工事																				
【工事外】 1階2階1F電気パネルヒーター工事	C) 高圧受電設備更新改修工事(電気設備工事)																			
【工事外】 1階厨房及び廊下エアコン工事	・ 既存キュービクルの経年劣化各機器を新機器に取替																			
【工事外】 2階廊下エアコン工事	・ 既存キュービクルのエアコン接続用開閉器改修																			
【工事外】 3階廊下エアコン工事																				
【工事外】 4階廊下エアコン工事																				
・ 1階浴室脱衣室(男女)エアコン工事																				



付近見取図 工事場所：伊那市高遠町勝間217番地 (高遠さくらホテル)

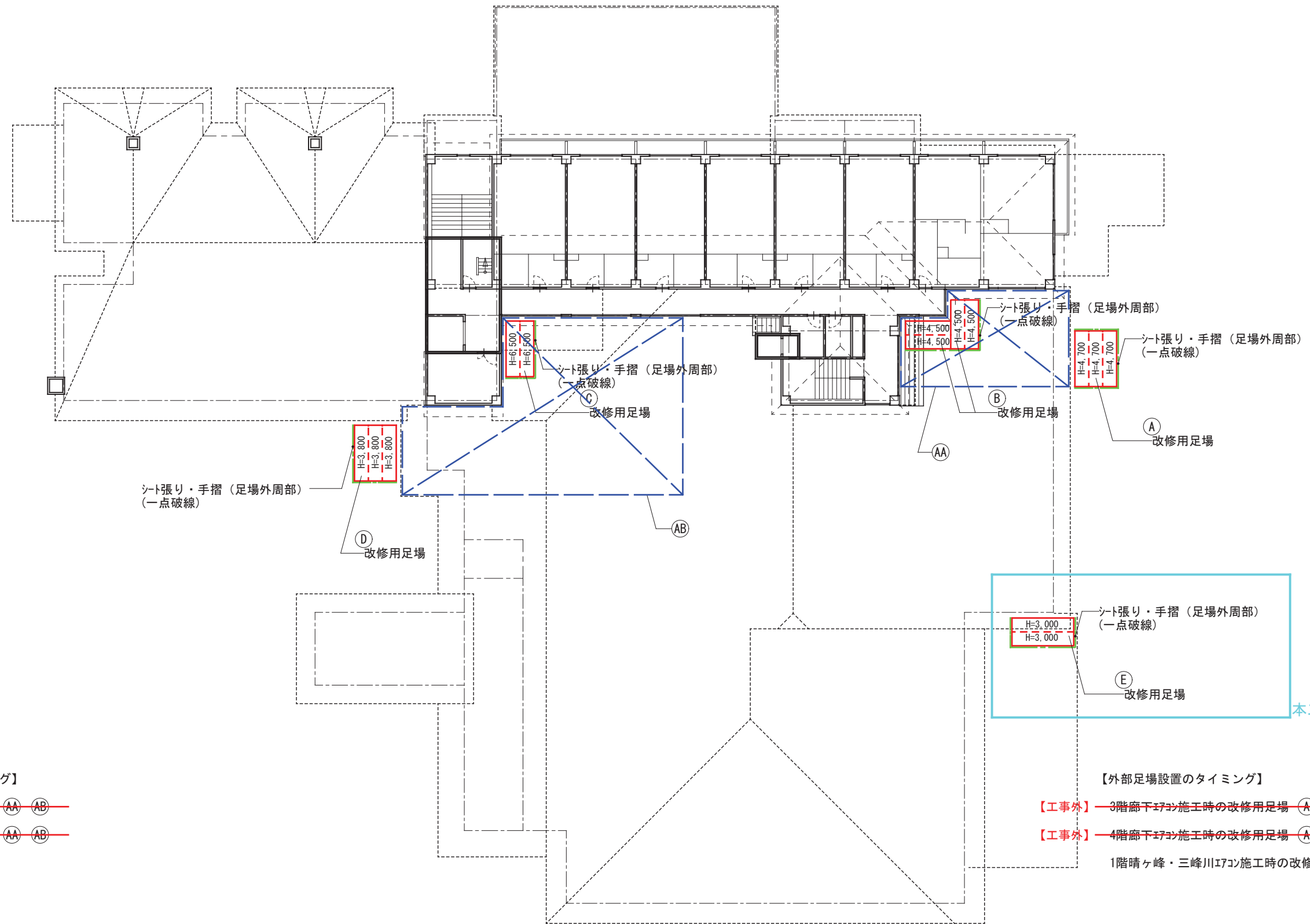




※建材のアスベスト含有調査済み。(吹付下地もれ、押出成型セメント板⇒含有 倉庫鉄骨吹付材⇒非含有)
 下地にアスベスト含有(≦1%)の外壁は、穴開けは吸引しながら飛散防止し、削りカス等廃材は適正処理処分をする

本工事部分
 □ 新規天井点検口 450角 (建築工事)

1階平面図 S=1/200



仕上養生・清掃片付け

【仕上養生・清掃片付けのタイミング】

【工事外】 3階廊下エアコン施工時の改修用足場 (AA) (AB)

【工事外】 4階廊下エアコン施工時の改修用足場 (AA) (AB)

【外部足場設置のタイミング】

【工事外】 3階廊下エアコン施工時の改修用足場 (A) (D)

【工事外】 4階廊下エアコン施工時の改修用足場 (A) (B) (C) (D)

1階晴ヶ峰・三峰川エアコン施工時の改修用足場 (E)

※室内養生費は機械設備工事で計上

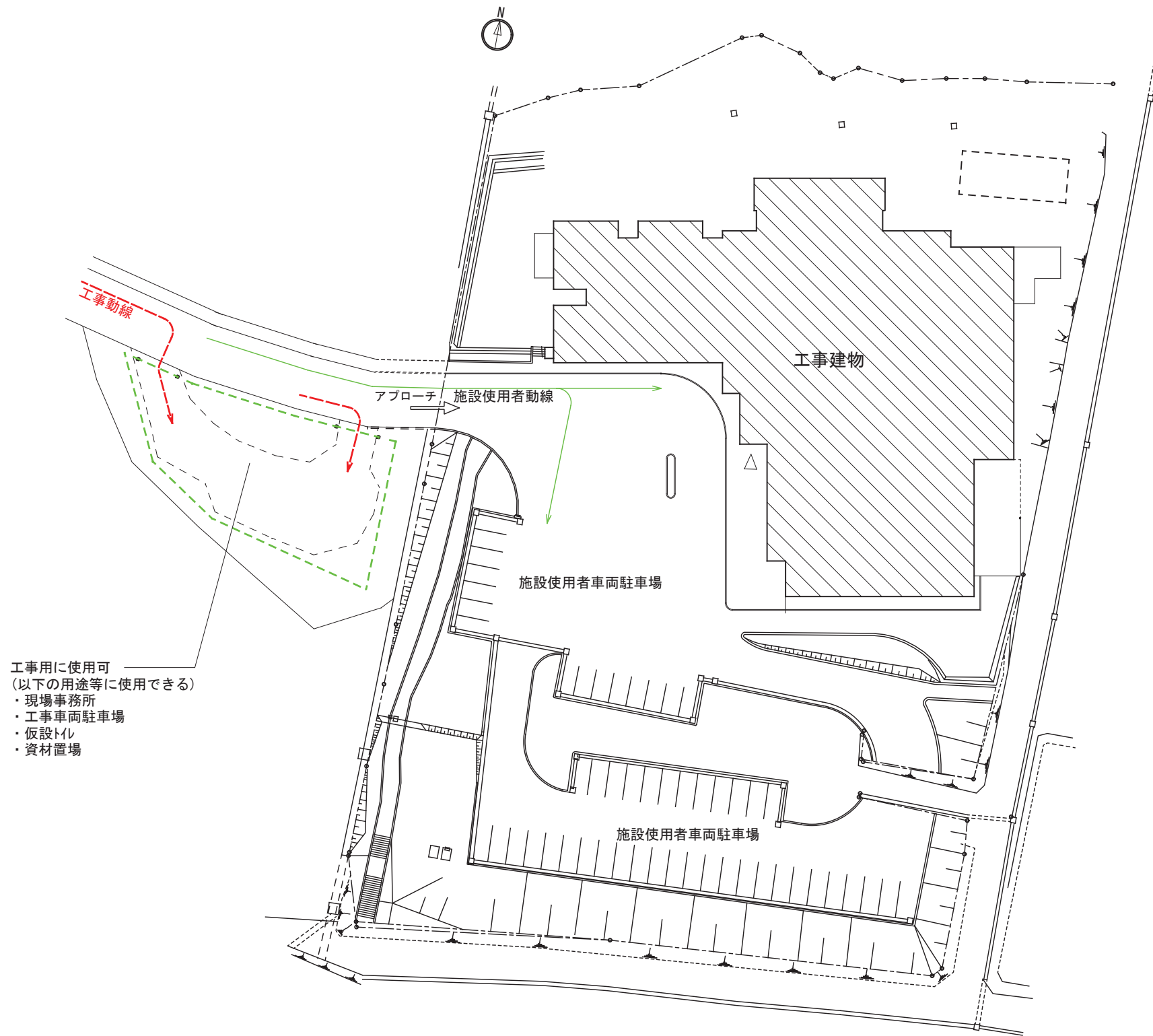
本工事部分

参考図

※パレトカー・コンテナ等；共通仮設費に含む。設置有無・位置は打合せによる。

※この仮設図は、あくまで計画図であるので、施工時は施工計画書等を提出の上、監督員等と協議して仮設を決定する事

4階平面図 S=1/200



- 工事に使用可
(以下の用途等に使用できる)
- ・現場事務所
 - ・工事車両駐車場
 - ・仮設トイレ
 - ・資材置場

配置図 S=1/500

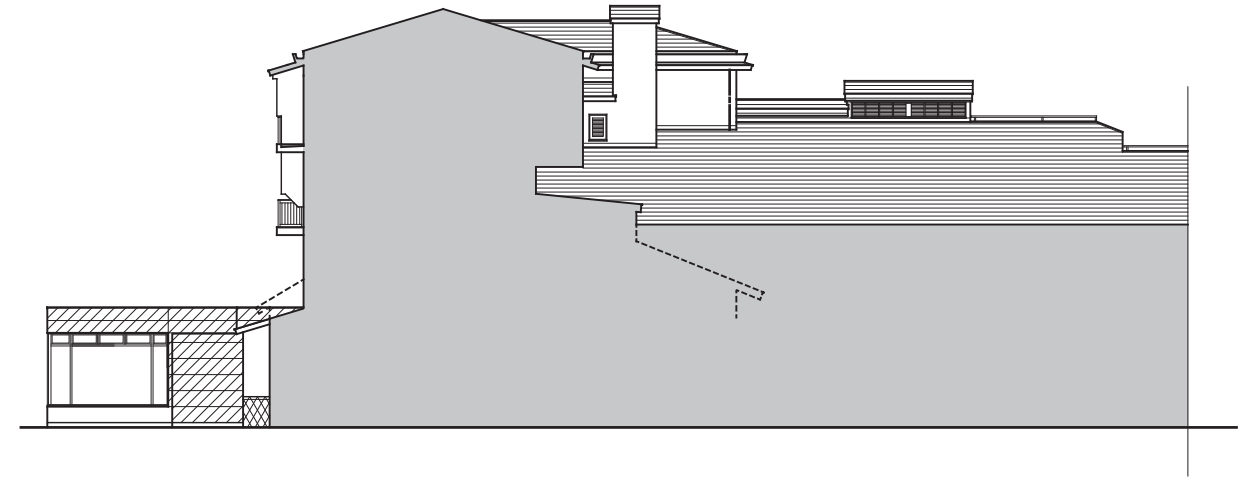
※バリエーションカーボン等；共通仮設費に含む。設置有無・位置は打合せによる。

※この仮設図は、あくまで計画図であるので、施工時は施工計画書等を提出の上、監督員等と協議して仮設を決定する事

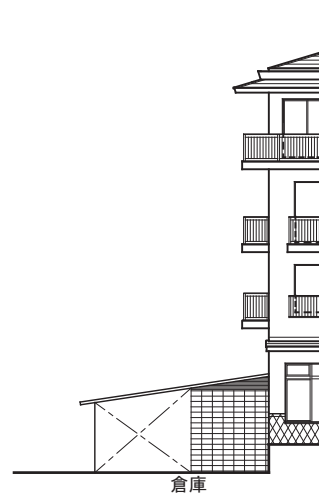
参考図



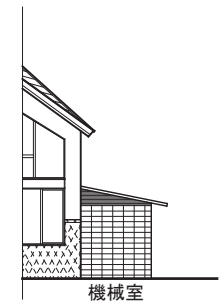
西 立面図 S=1/200

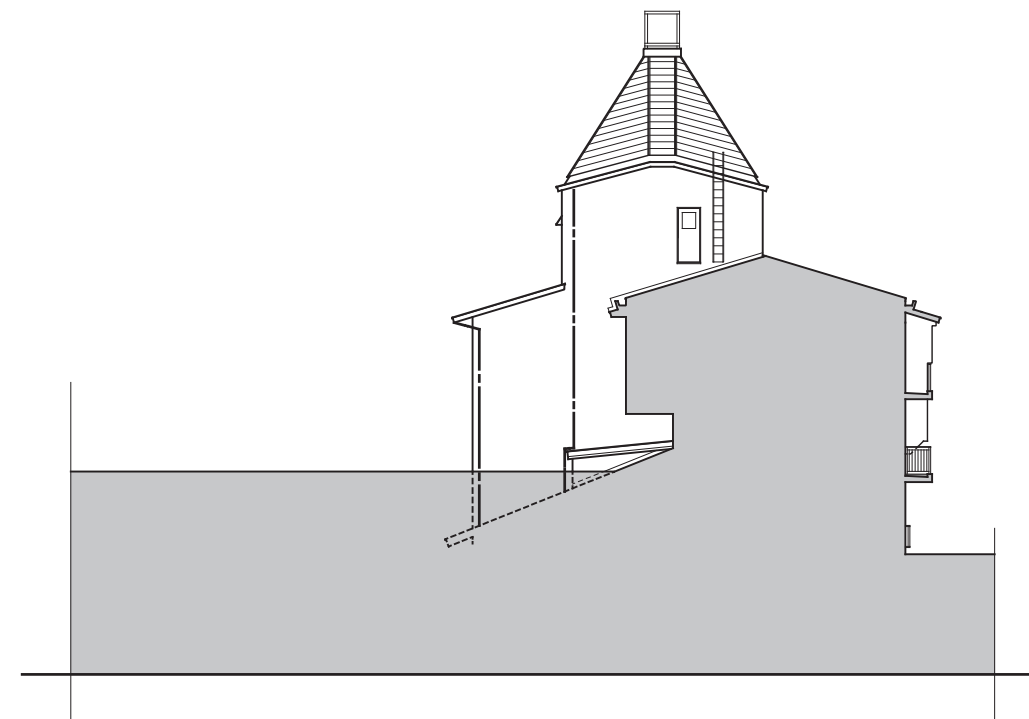


B 立断面図 S=1/200



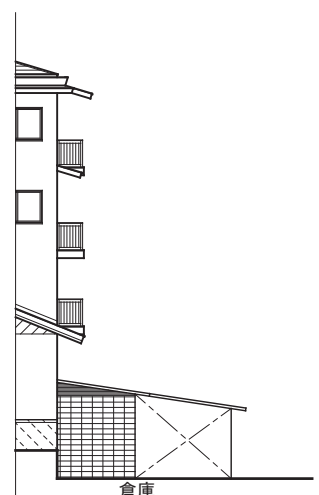
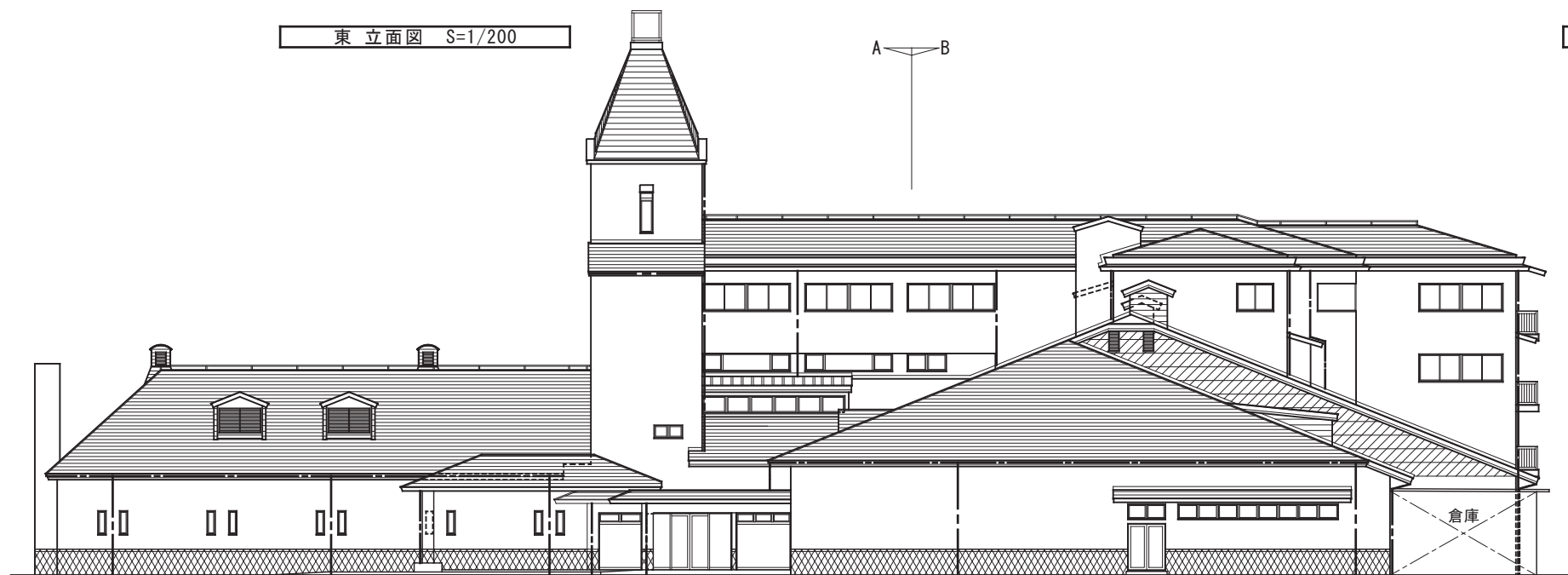
北 立面図 S=1/200



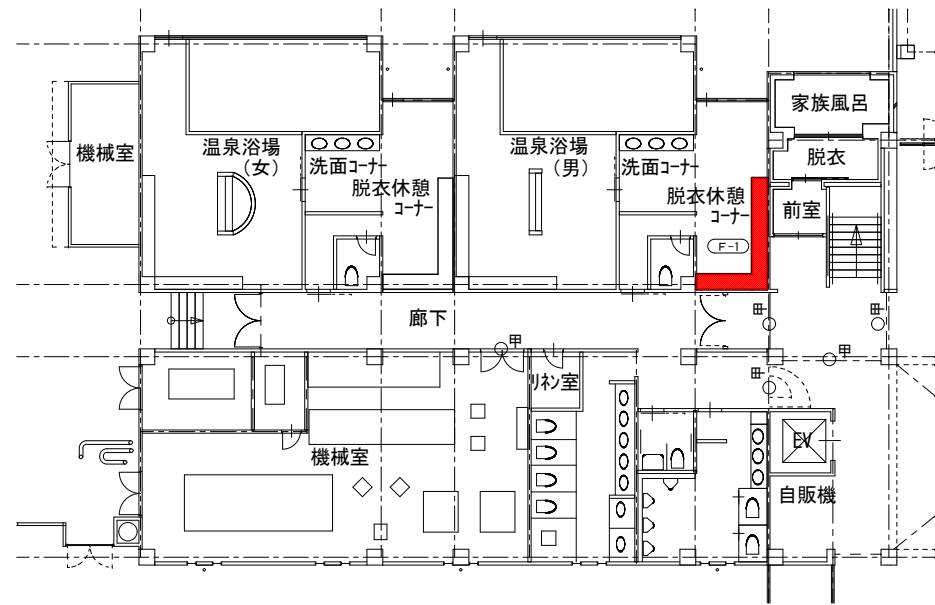


東 立面図 S=1/200

A 立断面図 S=1/200



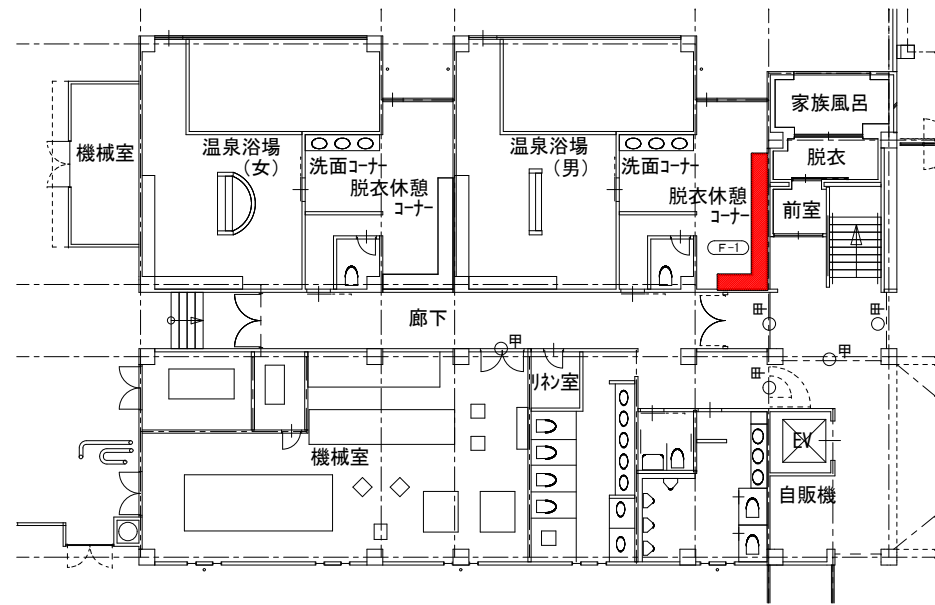
南 立面図 S=1/200



家具キープラン (撤去)

符号/名称	F-1:ロッカー	1ヶ所
場 所	脱衣場	
寸 法	4160×2960×1300	

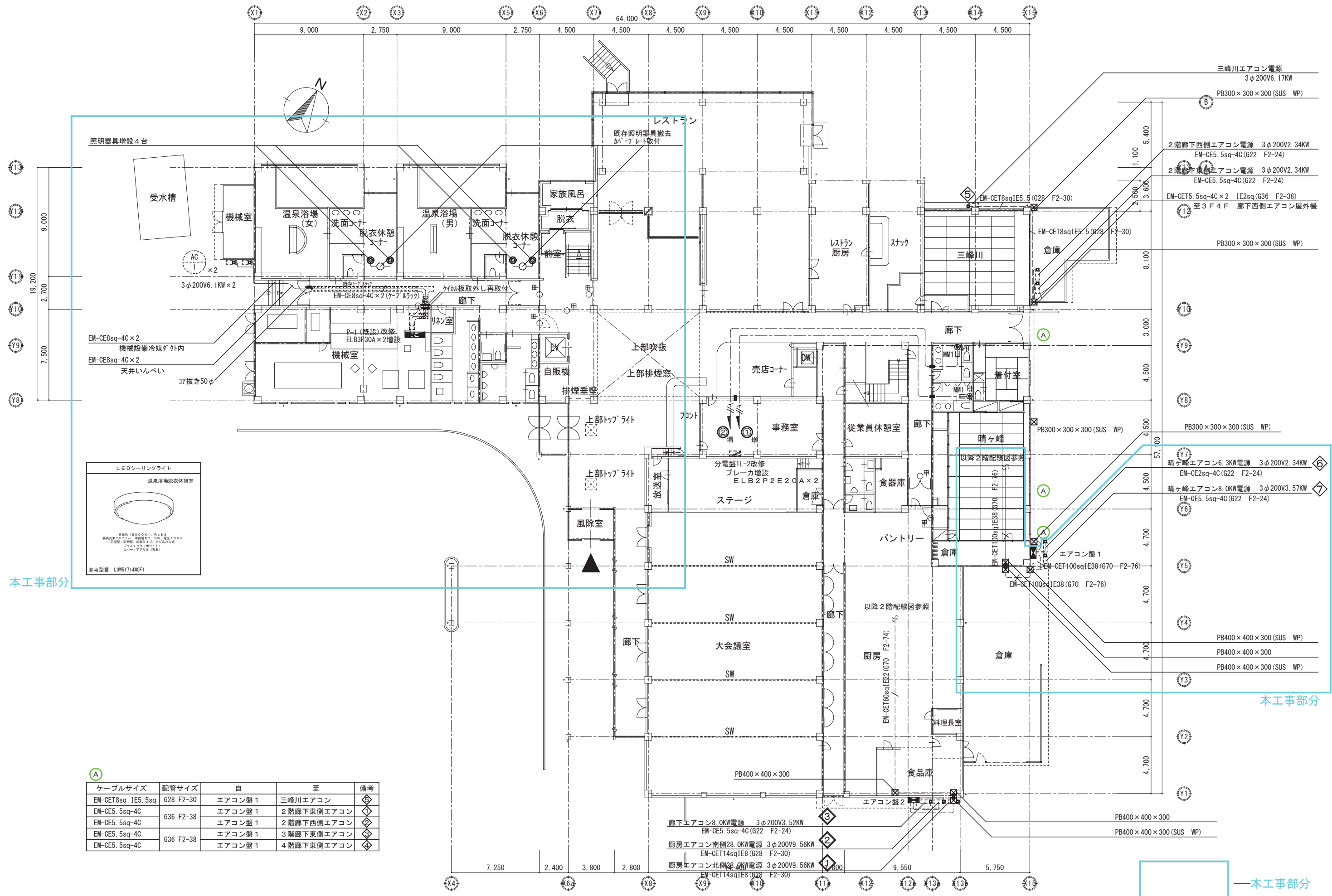
撤去図 S=1/50



家具キープラン (改修)

符号/名称	F-1:ロッカー	1ヶ所
取付場所	脱衣場	
仕上げ(外)	天板: 赤松集成材t=25 PU 側板: 赤松集成材t=25 PU 巾木: 木製H=100 PU	
仕上げ(内)	赤松集成材t=25 PU	
金 物	彫込取手、引出鍵付き	
備 考	-	

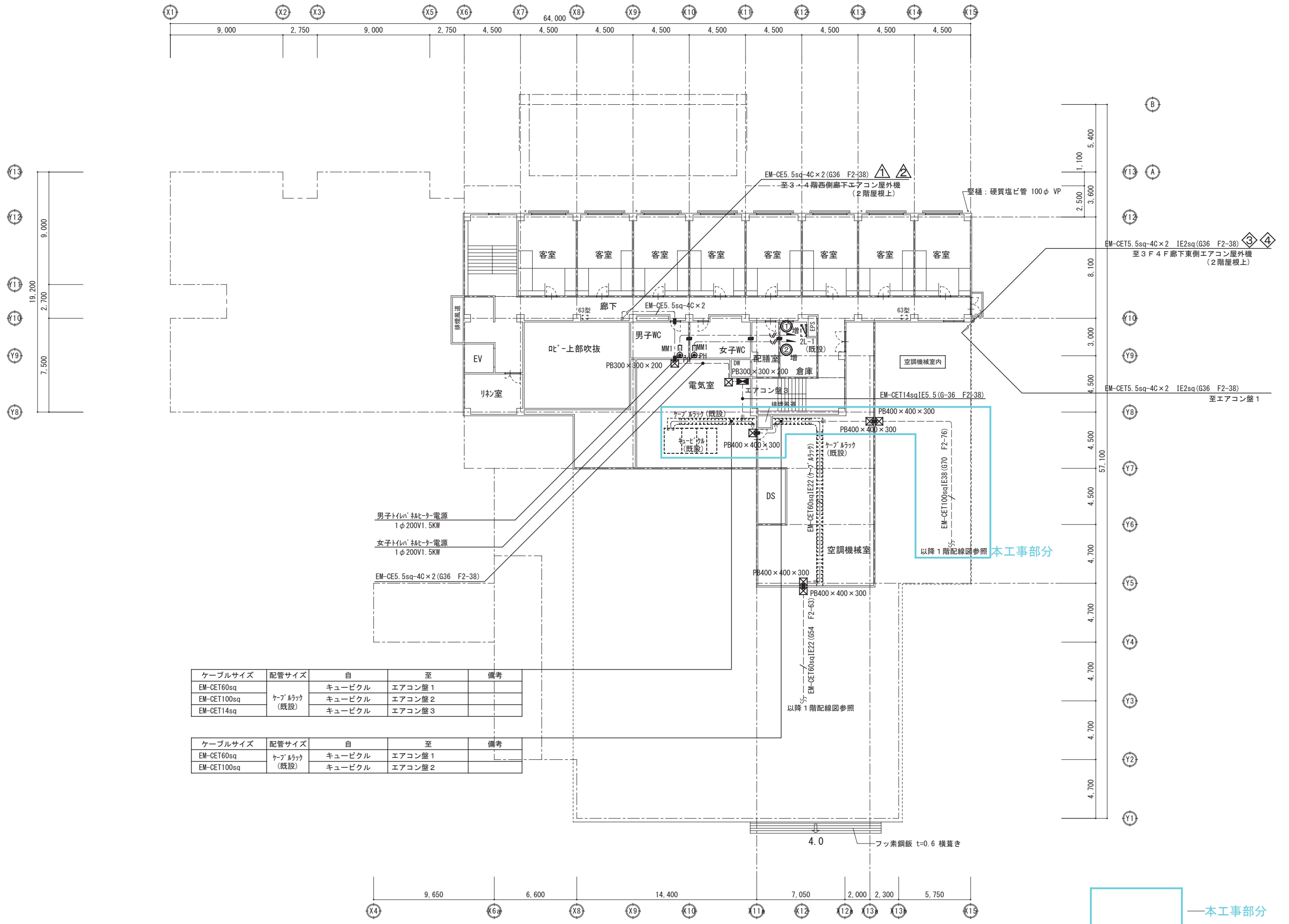
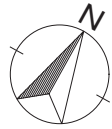
家具図 S=1/50



ケーブルサイズ	配管サイズ	自	至	備考
EM-CET8sq 1E5.5sq	G28 F2-30	エアコン盤 1	三峰川エアコン	①
EM-CE5.5sq-4C	G22 F2-24	エアコン盤 1	2階廊下東側エアコン	②
EM-CE5.5sq-4C	G36 F2-38	エアコン盤 1	2階廊下西側エアコン	③
EM-CE5.5sq-4C	G36 F2-38	エアコン盤 1	3階廊下東側エアコン	④
EM-CE5.5sq-4C	G36 F2-38	エアコン盤 1	4階廊下東側エアコン	⑤



1階エアコン電源配線図 S=1/200

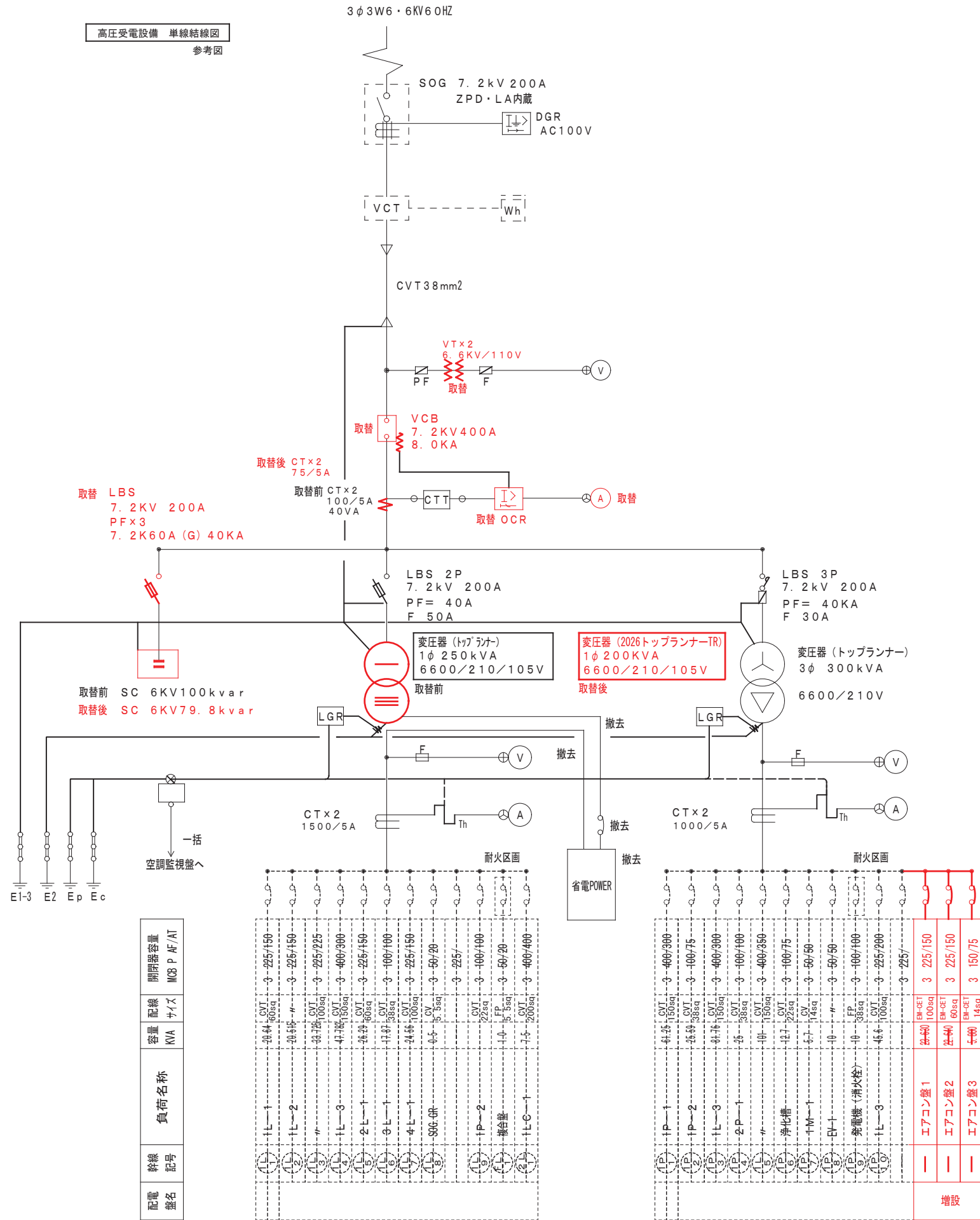


ケーブルサイズ	配管サイズ	自	至	備考
EM-CET60sq	ケーブルラック (既設)	キュービクル	エアコン盤1	
EM-CET100sq		キュービクル	エアコン盤2	
EM-CET14sq		キュービクル	エアコン盤3	

ケーブルサイズ	配管サイズ	自	至	備考
EM-CET60sq	ケーブルラック (既設)	キュービクル	エアコン盤1	
EM-CET100sq		キュービクル	エアコン盤2	

2階エアコン電源配線図 S=1/200

高圧受電設備 単線結線図
参考図



動力盤結線図

電気方式 幹線	分電盤 名称・形式	主幹及び回路構成	回路 記号	開閉器 種別	開閉器 容量	容量 (KW)	電圧 (V)	負荷名称	備考
3φ3W 200V	エアコン盤1 屋外防水壁掛 CET100sq	MCB3P250/150	X	◇	3PELB 50/30	2.9	200	エアコン 2階廊下東側	
				◇	3PELB 50/30	2.9	200	エアコン 2階廊下西側	
				◇	3PELB 50/30	2.9	200	エアコン 3階廊下東側	
				◇	3PELB 50/30	2.9	200	エアコン 4階廊下東側	
				◇	3PELB 50/30	6.17	200	エアコン 三峰川	
				◇	3PELB 50/30	2.34	200	エアコン 晴ヶ峰北側	
				◇	3PELB 50/30	3.52	200	エアコン 晴ヶ峰南側	
						合計	23.630		
3φ3W 200V	エアコン盤2 屋外防水壁掛 CET60sq	MCB3P250/125	X	◇	3PELB 50/50	9.56	200	エアコン 厨房天井北側	
				◇	3PELB 50/50	9.56	200	エアコン 厨房天井南側	
				◇	3PELB 50/30	3.52	200	エアコン 厨房廊下	
						合計	22.640		
3φ3W 200V	エアコン盤3 屋内鉄製壁掛け CET14sq	MCB3P100/75	X	△	3PELB 50/30	2.9	200	エアコン 3階廊下西側	
				△	3PELB 50/30	2.9	200	エアコン 4階廊下西側	
						合計	5.800		

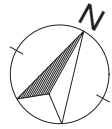
※エアコン盤2.3の設置については本工事対象外

※全て本工事部分

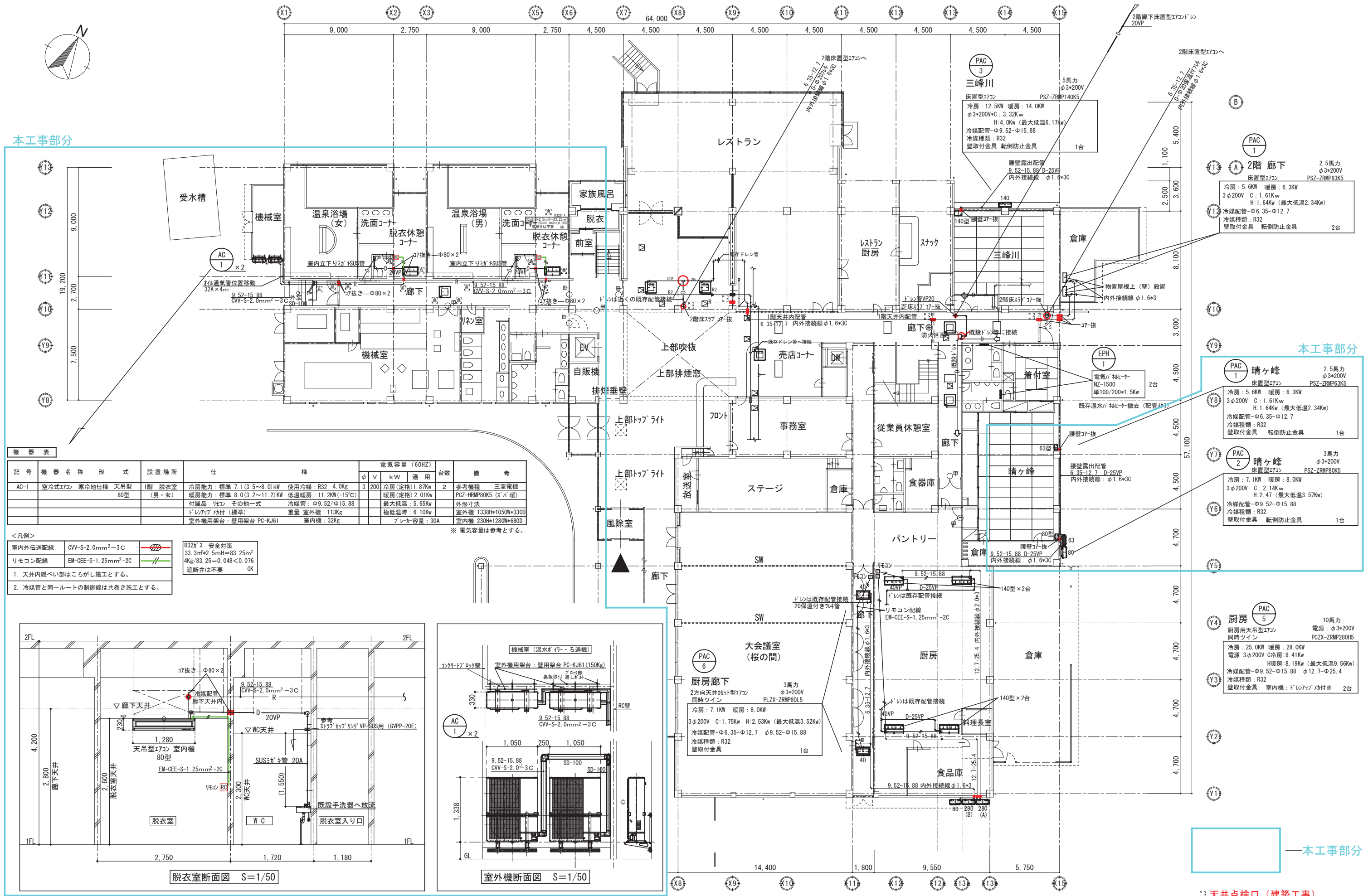
機器表

記号	機器名称	形式	設置場所	仕様	電気容量 (60HZ)				台数	備考				
					φ	V	kW	適用						
PAC-1	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプエアコン 床置型 63型 (2.5馬力)	1階 晴ヶ峰	冷房能力: 5.6kW	ワイヤードリモン	その他付属品一式	3	200	1.61 kW	冷房 (定格)	1	参考機種 (三菱電機)		
				暖房能力: 6.3kW			1.64 kW	暖房 (定格)	2	PSZ-ZRMP63K5 (セット)				
				A P F (2015): 5.0			2.34 kW	(最大低温)	2	室内ユニット: PS-RP63KA21				
				室外機壁取付金物 室内機防振木台 転倒防止金具			1.20 kW	圧縮機	1	室外ユニット: PUZ-ZRMP63KA15				
				冷媒: 6.35φ/12.7φ R-32 冷媒充填量: 2.0Kg						計 6				
				機器重量: 42Kg (室外) + 35Kg (室内) = 77Kg										
				使用温度範囲: -7~43°C										
PAC-2	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプエアコン 床置型 80型 (3馬力)	1階 晴ヶ峰	冷房能力: 7.1kW	ワイヤードリモン	その他付属品一式	3	200	2.14 kW	冷房 (定格)	1	参考機種		
				暖房能力: 8.0kW			2.47 kW	暖房 (定格)	2	PSZ-ZRMP80K5 (セット)				
				A P F (2015): 5.1			3.57 kW	(最大低温)	2	室内ユニット: PS-RP80KA21				
				室外機壁取付金物 室内機防振木台 転倒防止金具			1.60 kW	圧縮機	1	室外ユニット: PUZ-ZRMP80HA15				
				冷媒: 9.52φ/15.88φ R-32 冷媒充填量: 2.8Kg										
				機器重量: 66Kg (室外) + 35Kg (室内) = 101Kg										
				使用温度範囲: -7~43°C										
PAC-3	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプエアコン 床置型 140型 (5馬力)	1階 三峰川	冷房能力: 12.5kW	ワイヤードリモン	その他付属品一式	3	200	3.32 kW	冷房 (定格)	1	参考機種		
				暖房能力: 14.0kW			4.00 kW	暖房 (定格)	2	PSZ-ZRMP140K5 (セット)				
				A P F (2015): 5.1			6.17 kW	(最大低温)	2	室内ユニット: PS-RP140KA21				
				室外機壁取付金物 室内機防振木台 転倒防止金具			2.80 kW	圧縮機	1	室外ユニット: PUZ-ZRMP140KA15				
				冷媒: 9.52φ/15.88φ R-32 冷媒充填量: 4.0Kg										
				機器重量: 99Kg (室外) + 49Kg (室内) = 148Kg										
				使用温度範囲: -7~43°C										
PAC-4	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプエアコン 1方向天井型 63型 (2.5馬力)	4階 廊下	冷房能力: 5.6kW	ワイヤードリモン	その他付属品一式	3	200	1.54 kW	冷房 (定格)	1	参考機種		
				暖房能力: 6.3kW			1.73 kW	暖房 (定格)	2	PMZ-ZRMP63F5 (セット)				
				A P F (2015): 5.0			2.26 kW	(最大低温)	2	室内ユニット: PM-RP63FA21				
				室外機壁取付金物			1.20 kW	圧縮機	1	室外ユニット: PUZ-ZRMP63KA15				
				冷媒: 6.35φ/12.7φ R-32 冷媒充填量: 2.0Kg										
				機器重量: 42Kg (室外) + 26+6.5Kg (室内) = 74.5Kg										
				使用温度範囲: -7~43°C							コンクリート基礎 (建築工事)			
PAC-5	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプエアコン 厨房用 天吊型 同時ツイン 280型 (10馬力)	1階 厨房	冷房能力: 25.0kW	ワイヤードリモン	その他付属品一式	3	200	8.41 kW	冷房 (定格)	2	参考機種		
				暖房能力: 28.0kW			8.19 kW	暖房 (定格)	2	PCZX-ZRMP280H5 (セット)				
				A P F (2015): 4.3			9.56 kW	(最大低温)	2	室内ユニット: PC-RP140HA21 × 2台				
				室外機壁取付金物 トレリアップ 木 フロント+吊り金具用化粧カバー			5.70 kW	圧縮機	1	室外ユニット: PUZ-ZRMP280KA5				
				冷媒: (室外機) 12.7φ/25.4φ (室内機) 9.52φ/15.88φ × 2台										
				機器重量: 134Kg (室外) + 56Kg × 2台 (室内) = 246Kg										
				使用温度範囲: -7~45°C R-32 冷媒充填量: 6.5Kg										
PAC-6	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプエアコン 2方向天井型同時ツイン 80型 (3馬力)	1階 厨房廊下	冷房能力: 7.1kW	ワイヤードリモン	その他付属品一式	3	200	1.75 kW	冷房 (定格)	1	参考機種		
				暖房能力: 8.0kW			2.53 kW	暖房 (定格)	2	PLZX-ZRMP80L5 (セット)				
				A P F (2015): 5.4			3.52 kW	(最大低温)	2	室内ユニット: PL-RP40LA21 × 2台				
				室外機壁取付金物			1.60 kW	圧縮機	1	室外ユニット: PUZ-ZRMP80HA15				
				冷媒: (室外機) 9.52φ/15.88φ (室内機) 6.35φ/12.7φ × 2台										
				機器重量: 66Kg (室外) + 21+7Kg × 2台 (室内) = 122Kg										
				使用温度範囲: -7~43°C R-32 冷媒充填量: 2.8Kg										
EPH-1	電気式パネルヒーター	壁掛型電気パネルヒーター	1・2階男女便所	暖房能力: 1.50 kW	いたづら防止カバー 保護カバー			1	100/200	1.50 kW		4	NZ-1500	下地補強共 (インターセントラル)

※ 電気容量は参考とする。



本工事部分

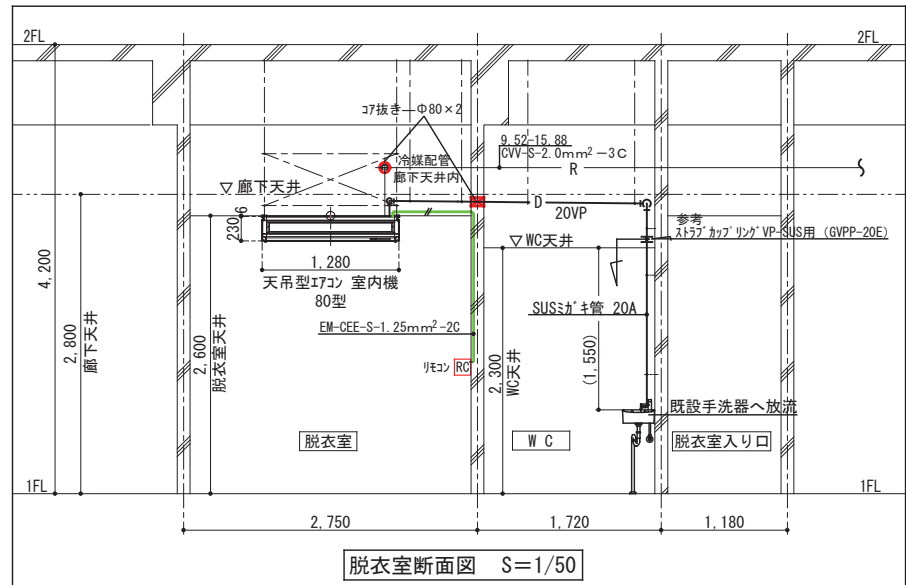


機器表

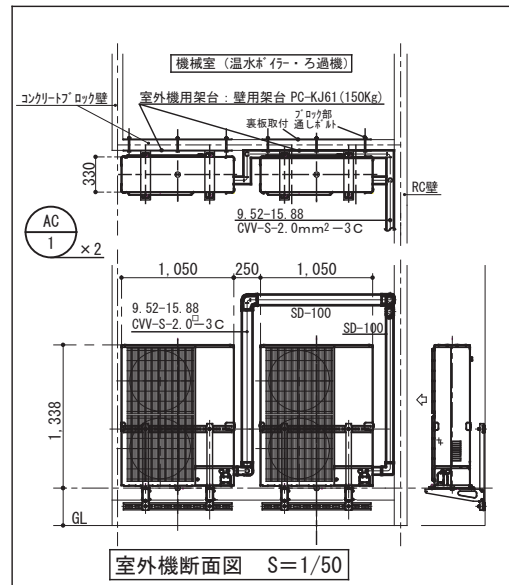
記号	機器名称	形式	設置場所	仕様	電気容量 (60Hz)		台数	備考
					φ	V		
AC-1	空冷式エアコン	寒冷地仕様 天吊型	1階 脱衣室	冷房能力: 標準 7.1 (3.5~8.0) kW 使用冷媒: R32 4.0kg 暖房能力: 標準 8.0 (3.2~11.2) kW 低温暖房: 11.2kW (-15°C) 付属品: リモコン 他一式 冷媒管: φ9.52/φ15.88 ドレンパイプ 付付 (標準) 重量 室外機: 113kg 極低温時: 6.10kW 室外機用架台: 壁用架台 PC-KJ61 室内機: 32kg	3	200	2	参考機種 三菱電機 PCZ-HRMP80K5 (スノーフ)

- <凡例>
- 室内外伝送配線 CWV-S-2.0mm²-3C
 - リモコン配線 EM-CEE-S-1.25mm²-2C
 - 1. 天井内隠ぺい部はこころがし施工とする。
 - 2. 冷媒管と同一ルートの制御線は共巻き施工とする。

R32がス 安全対策
33.3m²×2.5mH=83.25m³
4kg/83.25=0.048<0.076
遮断弁は不要 OK



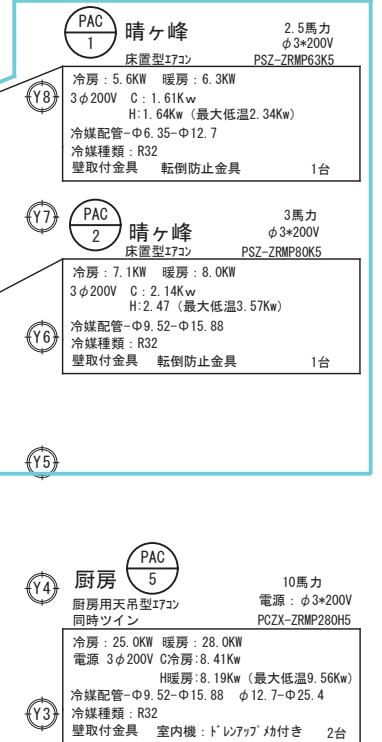
脱衣室断面図 S=1/50



室外機断面図 S=1/50

1階平面図 S=1/200

本工事部分



本工事部分

天井点検口 (建築工事)

本工事部分

